

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Harmony天笑		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日～2025年 1月 10日		
○保護者評価有効回答数	(ご利用家庭数)	23名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日～2025年 1月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動に特化したプログラム。	基礎的な動きや多様な運動経験(蹴る・打つ・投げるなど)から種目別の競技(サッカー、ドッジボール、野球など)まで幅広く様々な経験を学ぶことができるよう活動プログラムの立案を行っている。	今後はご利用者がやってみたいこと、もっと上手になりたいことなども積極的に取り入れていく。
2	専門職による支援。(作業療法士)	各ご利用者の身体・心の特性を専門的な視点から捉え、活動を通して個別・集団での専門的支援を実施。また、月に1度作業療法に特化した活動を設け、日用品の使い方や身体の使い方などの具体的な支援を行っている。	個別支援をより充実させ、1人1人にあった支援を行っていく。
3			
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会。	ご利用者の特性に合わせた支援を優先してしまい、安全面を考慮したときになかなか企画にすることが難しい。	まずは地域の遊戯施設の利用やイベントの参加を通して少しずつふれあいの機会を増やしていきたいと考えている。
2	保護者会等の開催・保護者同士の交流の機会。ペアレント・トレーニングについて。	保護者向けの研修等に対する情報収集が職員間であまりできていない。ペアレント・トレーニングに関しては、個別の対応は行ってきている。	保護者の方にアンケート等を行いニーズの調査を行っていく。発達や支援について個別相談ができる場等と一緒に見つけていきたい。(保護者参観日の開催等)
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Harmony天笑

公表日 2025年2月15日

ご利用家庭数 23家庭 回収数 13家庭

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1		1		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		2		現在スロープ等の設置はしていませんが、必要に応じて検討して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	13					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	2				日々のミーティング等でご利用者様の様子を職員全体で話し合いながら支援を行っております。今後も研修等で専門性を学び、より良い支援を目指して参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2				ご利用者様の意見も聞きながら作成を行っております。今後も楽しんでいただける活動を提供できるよう工夫して参ります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	3	5	2		公園遊び等の外部活動の際に交流する機会が何度かございました。今後も機会を増やしていけるよう地域の行事などへの参加を検討していきたいと思っております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	6	1	5		ご利用者様の成長と発達に合わせて個々にお伝えさせて頂いております。今後も皆様のニーズに沿った形で研修会等へのお声かけを行って参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	13					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	4				3か月に1回の面談だけでなく、普段のお迎えの際にも困りごとをお気軽にお話し頂ければと思います。事業所内での相談も可能です。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	4				否定ではなく肯定的な関心を持ち日々の支援を行っております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	3	5		今年度は保護者様、きょうだい向けのイベントの開催は実施できていない状況です。今後の機会に向けて、どのような形で実施できるかを検討し計画を進めていきたいと考えております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	3		2		相談や申入れに関しては管理者に集約され、基本的には管理者から回答しております。相談などがある場合、スムーズに対応できる関係性づくりを心掛け、丁寧な対応を行って行きたいと思っております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	3		1		意思の疎通、情報伝達が適切に図られるように個々に応じてわかりやすい言葉・資料を用いてコミュニケーションをとるよう努めて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1		3		ホームページにてブログや行事予定を随時更新しております。評価表の結果においてはホームページ上での公開、玄関先への掲示を行っております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			1		個人情報の取り扱いについては入社時の説明や研修等に継続して対応しております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	3		3		作成したマニュアルは玄関先に掲示しております。お迎えの際などにご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2		2		次回より各種訓練の実施後には随時玄関先へ掲示を行いたいと思っております。お迎えの際などにご覧ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		3		作成したマニュアルを今後周知して参ります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	3		4		怪我の報告に関しまして以前速やかな対応ができずご心配、ご迷惑をおかけしてしまうことがございました。怪我、事故発生時の対応について改めて職員間で話し合いを行い、予防策の立案・実施に向けて取り組みを行っております。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	2				定期的にヒアリングを行い、ご利用者様の不安の解消を行っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	3				ご利用者様のやってみたいことを今後も取り入れていき、通所意欲の向上を目指していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	2			通所する子どもの支援はもちろん、送迎や預かり時間、昼食などご配慮していただき感謝しております。	今後ご利用者様に寄り添った支援、活動を提供して参ります。今後ともよろしくお願いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Harmony天笑			公表日 2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		事業所内で運動系の活動は難しいため外部での運動活動が多く組まれている点。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		職員の配置については基準を念頭に置いて配置を行い、可能な限り手厚い配慮を行って参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	ルールやマナー言葉遣いなどが正しく行えるよう掲示物を施設内に掲示しています。	ご利用者様のニーズに合わせて都度検討を行っていききたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		指導訓練室①、②のフロアマットが2年近く使用している物なので、様子を見ながら交換対応をおこなって参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		参加できなかった職員との情報共有も忘れずに行ってきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		ご利用者様の意見も聞きながら作成を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		昼にミーティングを行いその日の打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7		夕方のミーティングでその日の振り返り、気づいた点の共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達管理責任者又は専門職員、主幹が必ず参加するように対応している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		※現在は対象者がいないため実施しておりません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			密に行くことはできていないと感じる。定期的なモニタリング以外にも、ご様子を見ていただきたいと感じたタイミングでお声がけし、連携を図っていきたい。

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		7		交流を増やしていけるよう地域の行事、イベント等への参加を検討していきたいと思えます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7		案内のある協議会には可能な限り参加しております。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		利用契約時に丁寧に説明を行い、同意を頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		保護者様同士が交流を持てる機会を検討して参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		地域の方との関わりを持てる行事企画を検討して参ります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		クッキング活動の前には改めて確認を行っております。全職員がすぐに確認できるよう掲示も行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			